

五月 十八日（月）

名前

『漢字の音と訓』

漢字の「音(オン)」と「訓(くん)」について知ろう

① 次の——線の漢字の読み方を書きましょう。

また、同じ漢字で読み方のちがうものは、「音」はカタカナ、「訓」はひらがなで、下に書き出しましょう。

〈れい〉

あさ

チヨウウ

朝早くおきて、ゆっくり朝食をとった。

(1) 物語の登場人物になりきって音読する。

(2) 午後以後かたづけをしよう。

(3) 教科書を見て、字を書いた。

書		後		物		朝	
訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
						あさ	チヨウウ

② ——線の漢字の読み方を、音はカタカナ、訓はひらがなで書きましょう。(分からないときは、148～156ページで調べましょう。)

(1) 大切 大きい 大学生

(2) 五十音 リコーダーの音 音色

(3) 人間 となりの人 人物

「分かったこと・気づいたこと」

五月 十九日 (火)

名前

『言葉で遊ぼう』

まとまりに気をつけて文を読みましょう。

【だん落】・・・文章を組み立てているまとまり。(文章の始まりが一字下がつている)

【問い】・・・これから何を書くかを、読み手に問いかけるかたちで表した文のこと。

(しつ問のように「どのような〜でしょうか」「どんな〜でしょう」と書いてあることが多い)

① ①のだん落に書かれている「問い」を、⑦⑧の二つに分けて書きぬきましょう。

⑦	
⑧	

② ⑦の「答え」と⑧の「答え」を、②③④のだん落から書きぬきましょう。

(②の(れい)をさんごうに、③④を書きましよう。)

⑦	(れい) しゃれ	⑦
②	(れい) しゃれには、言葉のもつ音と意味とを組み 合わせるという楽しさがあるのです。	⑧
③		
④		

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十日 (水)

名前

『言葉で遊ぼう』

言葉遊びをしてみよう。

言葉遊びに使えるみじかい文を作りましょう。

① 言葉遊びに使えるみじかい文を書きましょう。

(言葉遊びのしゅるいは同じしゅるいでもよい。文を三つ作ってみよう。)

《言葉遊びのしゅるい》

「しゃれ」・・・似た音や同じ音の言葉を使って、文を作る遊び

「回文」・・・上から読んでも、下から読んでも同じになる言葉や文

「アナグラム」・・・文字のじゅん番をならびかえて、べつの言葉を作る遊び

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十一日 (木)

名前

『ごまを楽しむ』

文章の組み立てについて考えましょう。

【だん落】…文章を組み立てているまとめり。(文章の始まりが一文字下がっている)

① 教科書『ごまを楽しむ』の文章を見て、だん落ごとに番号をつけましょう。

(全部で8つあります)

② 文章を「はじめ」「中」「おわり」の三つに分け、だん落の番号を書きましょう。

(「れい」をさんごうに、②～⑧を書きましょう。)

	だん落の番号	書かれている内容
はじめ	(れい) ①	「問い」
中		「問い」にたいする「答え」
おわり		全体のまとめ

「分かったこと・気づいたこと」

五月 二十二日 (金)

名前

『ごまを楽しむ』

文章の組み立てについて考えましょう。

【問い】…これから何を書くかを、読み手に問いかけるかたちで表した文のこと。
(しつ問のように)「どのようなくでしようか」「どんなくでしよう」と書いてあることが多い)

① この文章の「問い」を、㉞㉟の二つに分けて書きましょう。(※①のだん落を見よう)

㉞	
㉟	

② 「問い」㉞㉟にたいする「答え」を、だん落ごとにせいりしましょう。

(②のだん落(れい)をきんこうに、ほかのだん落も書きましょう。)

だん落	問い㉞の「答え」	問い㉟の「答え」
②	(れい) 色がわりごま	(れい) 回っているときの色を楽しむ。

「分かったこと・気づいたこと」